

☆第3回策定委員会でみなさまから頂戴した質問・意見を下記のとおりまとめました。

【意見】

□(ダイアグラムを見て)本当にこれが実現できたらすごいと思ワクワクする反面、施設の維持や防犯の点で不安にもなった。子どもたちの教育施設と考えると、果たしてここまでのものが必要なのか?とを感じる。

→くにみ学園に必要な機能を、今は最大限詰め込んでダイアグラムを作成しています。現実的には、これからどの部分が必要なのか具体的な検討を進めていくこととなります。

□何をやらないのか(絶対に譲らないものは何か)という方針が必要。

→これからソフトとハードを活かす検討を行っていきます。

□「郷土愛をはぐくむ場」について、コミュニティセンターを地域に開放し、「つながりを作る場」として他世代の方と子どもたちとのつながりが作れば「地域愛」が自然とはぐくめると感じるため、キーワードとして入れてはどうか。

□施設を維持するためのソフトの戦略・計画が必要。地域ボランティアの活用は生きがいづくりにもなり、防犯にもなる。

□コミュニティスペースの写真のイメージが高齢者に見えるが、大学生や高校生とのつながりの場所としても考えられるのではないか?

→現在アカリや文化センターで、高校生や中学生が勉強している姿がありますので、くにみ学園のコミュニティセンターでも培われればよいと思っています。

□良い環境で子どもたちを育てたい気持ちはあるが、それよりも、もっと教育内容を充実させて一人一人の子どもに目が行くような面も考えてほしい。

→これから本当に必要なもの、子どもたちの学びのためにこれはやってあげたい、残していきたいというところを考えていきます。

□ダイアグラムの中に、子どもたちが大多数の時間を過ごす教室のイメージがないが、教室がどのような形態でどういう空間づくりになるかが一番重要だと思う。また、一般開放の部分には公営塾も併設してほしい。

□子どもたちの教育の場なので、子どもたちと一緒にデッサンしたり物を作っていけると良い学校になる。

□放課後デイサービスの写真が、実際と差があり誤解を招くと感じる。  
→誤解の無いよう、資料を修正します。

□くにみ学園の支援に当たれる地域の方がどれだけいるのか？と感じる。

□いろいろな方の意見を取り入れて、資料として示しているが、今後どのように整理し、周知するかが重要。子どもたちの意見も少なからず取り入れてあげないと、「大人ってなんだ!？」となってしまう。  
→町民への周知は丁寧にやっていきたいと考えています。

□教室同様、校庭・園庭も諸活動に関わるとても大事な場所である。

□カフェ、ガーデンファーム、食品加工研究室、飼育施設等が整備されれば、職場体験もでき、また、生徒が町の特産を生かした商品開発を行い、カフェで提供する等の夢も広がる。

□職員室については、個人情報扱う観点から、フリーデスク制はなじまないと感じる。先生方が働きやすい環境でなければ、学園自体が機能しなくなるので、色々な事例を見ながら検討し、先生方の意見を反映することが重要。

□「郷土愛をはぐくむ場」に展示室や大型モニター設置等、成果発表が見える工夫とあるが、どのようなイメージか？

□ボランティアを集めるにあたって、ボランティアも楽しく、多少の謝礼もあつたらよいと思う。

□施設については複雑だと後々管理が大変になるため、シンプルな中で夢をかなえられる建物だと良い。

□遊戯室や保育室にテラスがあり、活動したり給食が食べられたら良いと思う。また、プールは天候に左右されないよう、屋内プールだと良い。

□理念を基にしたデッサンが見たい。